



小諸市仮図書館オープン

かぜ 浅間の旋風

元気!やる気!!よしあき!!!

発行責任者：山岸喜昭
〒384-0025 長野県小諸市相生町1-3-7 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320
http://asama-kaze.com E-mail voice@asama-kaze.com



完成近づく
県道佐久小諸線 森山区 長林

拡幅・歩道設置工事経過報告も
いよいよ最終。

イネ!

山岸よしあきの
facebookより

11月14日

今日は小原区で通学路の陳情です!県道通学路は危なくて学校には行かせられません!なんとか歩道を作って欲しい!本当に現場は危険!PTA、育成会、オヤジの会、安協、建設課、教育委員会と安全安心な通学路対策しました!なんとかしてやりたい!やるぞ!

11月9日

今日は小諸土地改良区の皆さんと農業用水の水源にきています!蓼科山の中腹、樫の木水源だ!ここから50キロ、水路、パイプで引いているのだ!この水が御牧ヶ原米、五郎兵衛米の源だ!大自然からの恵み、先代は素晴らしい資源を生かし残してくれました!感謝しないと罰が当たります!

皆様におかれましては、厳しい時代の中においても志を新たに新春を迎えられたことと存じます。

県議会に送っていただきまして早くも3年目を迎えようとしています。これまで多くの皆様の御指導、御鞭撻を頂きながら、充実した議会活動に取り組みしています事から心から感謝を申し上げます。

1月、県議会の改革・新風会派13名が小諸市内を視察され、平原区国道141号線4車線化の要望、相生町の電線地中化、駅前周辺整備の状況の他、安藤百福記念センター、県農業大学校を訪れました。2月には、「県とのパイプづくり」「小諸行政と対話し、県政との繋がりを構築」の活動のひとつとして、阿部知事をお招きし、多くの女性団体と活発な意見が交わされました。

また、小諸市のイベント等に、野池観光部長や佐々木県警本部長、清水慎、泉観光アドバイザーなど多くの関係者が来訪され、小諸の良さ、魅力、勉強会など交流を深めました。

先般の衆議院選挙においては、自民党が衆議院の3分の2を制して、民主党政権から自民政権へと移行することになりました。大変厳しい時代の中、景気雇用対策、社会保障問題、原発政策、外交・安全保障政策など重要課題が山積しています。このような課題解決に向けて、地方自治体の果たすべき役割、責任は益々重要性を増しています。

知事も、時代の転換期を迎え、長野県の将来像を県民と共有しながら創り上げる、「長野県中期総合5ヶ年計画」のもと施策を進めています。

県議会も、多くの課題に取り組みながら議会改革を進めてきましたが、今後とも議会の責任と責務を果たす為、県民の皆さんに開かれ充実した議会の実現に向けて努力をさせていただきます。

小諸も、大きな変革の時を迎えています。市庁舎再構築、厚生病院再構築、ごみ焼却施設建設、新商工会議所会館建設など大型事業が進み、日本のコンパクトシティモデル地区を目指しています。

また、少子高齢化の急激な進行や価値観の多様化、住民生活の変容する中、持続可能な発展する街づくりが求められています。安心安全な街で暮らすことは市民の願いであり、「セーフティコミュニティの実現」を目指して活動し、多くの地域住民や各団体の参画を頂きまして、この度、世界で297番目の「セーフティコミュニティ小諸」の認証を得ることができました。

今、小諸は新しい時代への扉が開かれました。皆様と二丸となって地域の活性化に向けて走り続けます。本年が、新しい小諸に向かって活力あふれ、笑顔が輝き、希望に満ちた年になりますよう祈念いたしまして、深淵の御挨拶いたします。

(公職選挙法より年賀状は欠礼させていただきます。)

新年のごあいさつ

長野県議会議員
山岸 喜昭

景気後退面での雇用対策・支援は…

【山岸】 日本経済の景気が後退局面に入り、県内でも大規模な希望退職者の募集や削減が相次いでおります。今後さらに厳しい局面を迎えような中で、地域一体となった対応が必要段階にきていると思いますが、県の対応をお聞かせください。

【太田商工労働部長】 輸出依存度が高く、中小企業の多い本県には、大変厳しい状況と認識。環境や医療など将来有望分野での販路開拓に取り組みむとともに、年末金融金融円滑化対応相談窓口を十一月二十六日、県庁経営支援課、各地方事務所商工観光課、及び県下七〇の商工会などにも開設。

雇用情勢は厳しい状況が続くと認識。十一月八日佐久地域で雇用対策推進協議会を

11月定例会 議会報告 (抜粋)

「経済雇用対策」「スノーリゾート」「信州教育」の3件を質疑

開催。国県地元市や経済団体が一緒になり、迅速かつきめ細やかな対応を確認。離職を余儀なくされた方々には、長野労働局ハローワークなどと連携支援に取り組みます。具体的には「ジョブカフェ信州」が現地に Outreach 実施するキャリアコンサルティングや職業訓練によるスキルアップなどに力を入れて参ります。また、企業が必要とする支援をお聞きするため緊急の企業訪問も開始しています。

【櫻井教育委員長】 これまで同様、引き続き、「知徳体が調和し、社会的に自立した人間の育成」を大切に取組み、思いやりの心を持ち、将来の夢や目標に向かってたくましく生きていく力を育む教育を重視してまいります。

【山岸】 教育制度や教員の資質が問われる中で、理想の教師像とは。

【櫻井教育委員長】 常に学び続け、子どもへの思いを感じ取り、ひとり一人を大切にすることを大切だと思っております。

信州教育の目指すものと理想の教師像

【山岸】 教育は百年の計と言われます。近年の日本の教育政策は、制度・方針がしばしば変えられている感があります。これからの県の教育重視点、子どもたちをどのよう信州人に育てていきたいのでしょうか。

※スノーリゾートにつきましては紙面の都合上割愛いたしました。県議会ページまた、相生町の事務所でもご覧いただけます。

はやし うこん

『平谷村(下伊那郡)の林芋村先生』

明治41年千代小学校代用教員を降り出しに、1913年(大正4年)~15年間、年老いた母親と子供を養育し、畑を開墾しながら教育に情熱をそそがれました。生活はとても貧しく、独学で「万葉集」を学び、短歌を詠んでいたようです。植林中に、太い古木の下敷きになり44歳の若さで生涯を閉じられました。子供たちはもとより村民に広く、厚く恵愛されていたことは、没十年後教え子たちが、「十銭」ずつ出し合ってお墓を建てたこと、同僚だった西川繁次郎先生が、林先生の人柄を残そうと当時のお金で15円(今なら20万円位)の「美雪せる…」の石碑を建てた事でうかがえます。昭和58年にこの詩に曲がつけられ、三部合唱としても歌い継がれています。

若者の仕事探しをまるごとサポート

ジョブカフェ信州

http://www.jobcafe-shinshu.pref.nagano.lg.jp/

長野県が厚生労働省や市町村、NPOと連携して、カウンセリングから職業紹介まで、就職に関する悩みを抱えている若者(40代前半の方まで対応)を支援しています。本部は松本市にありますが、長野市の「もんぜんぶら座」の中に分室があり、さらに、県内各地で出前講座や多数のキャリア・コンサルタントと連携した出張相談などを実施しています。



長野県議会
改革・新風
会派だより

第7号 (2013年) 平成25年1月

発行・編集/改革・新風
長野県庁県議会棟内(026)232-0087
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK
http://www.kaikaku-shinpuu.com

長野県議会 改革・新風 県政対話集会

2013年1月24日(木) 16時30分～

高森町福祉センター 2F大ホール

皆様 お気軽にお出掛けください

入場無料

今年も会派一同がんばります！



吉川 彰一 (財務委員長) 齋 裕一 (広報企画委員長) 下沢 順一郎 (政務調査会長) 小島 康晴 (政策審議会長) 野澤 徹司 (幹事長代理) 竹内 久幸 (幹事長) 倉田 竜彦 (代表)

石和 大 (政策審議副会長) 依田 明善 (政策審議副会長) 中川 博司 (政策審議副会長) 続木 幹夫 (広報企画副委員長) 堀場 秀孝 (政務調査副会長) 荒井 武志 (政務調査副会長) 山岸 喜昭 (政務調査副会長)

代表年頭ごあいさつ
長野県議会 改革・新風代表 倉田 竜彦

「改革・新風」県議団を代表して、年頭のご挨拶を申し上げます。

我が国の経済情勢は、欧州や中国など世界景気の減速等を背景として景気は急減速し、後退局面に入っていることが鮮明となっております。県内経済におきましても受注の

減少や中国向け需要の伸び悩み等により生産は弱めの動きとなっております。また雇用情勢については持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、厳しい状況が続いています。

私たち「改革・新風」は、当面の県政課題に関して積極的に調査活動を行い、昨年も会派独自の事業評価を行うなど他派に先駆けて改革に取り組んで参りました。

新たな中期総合5か年計画初年度となる平成二

十五年度は、我々県議会議員にとりましても任期の折り返しであります。依然として厳しい財政運営が求められている本県において、新たな総合5か年計画の着実な実施と震災からの復興、県民の安全・安心な暮らしに直結する施策を重視し、より身近で分かりやすい県政運営のために徹底した情報公開を推進し、県民が参画する県政の確立を目指します。

本年も県民の皆様方より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

阿部知事に提言

10月22日、県政全般に関する基本的施策27項目と各部署別191項目の合計218項目に及び「平成25年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を阿部知事に提出しました。主な要望及び知事のコメントは次の通りです。

◎厳しい財政状況の下での予算編成は、県民生活を重視した施策を柱に「経済対策予算」とすること

「政局優先の国への対応には議員各位からも協力願いたい。予算の執行状況のわかりやすさには工夫している」

◎「新交通ビジョン」の策定について、県民の暮らしに直結した視点



◎森林づくり県民税の継続については、間伐材の活用と流通に力点を置き、県民や観光客にわかりやすく推進すること

「使途がわかる形で運用したい」

◎中学校の30人規模学級について、市町村や教育現場と連携して3学年への導入を行うこと

「中一、中二へと順次対応しており、三学年対応「予定」

◎県短期大学の4年制化は県内産業育成に必要な人材育成を担う高等教育機関となるよう配慮すること

「中長期的視点で対応し、できる限り県民に理解を得られる形でスタートするために丁寧に対応する」

本提案書は冊子にまとめ、ご要望に応じてお届け致します。ご希望の方は会派事務局までご連絡下さい。

11月定例会

41億8400万円余
補正予算などを可決

- 経済・雇用情勢への対応
 - ◇県内産業の活性化 県内企業の販路開拓支援 1531万円
 - ◇県民生活の安全・安心確保
 - 補助公共事業費13億6650万9千円
 - 障害者グループホームの整備 4550万円
 - 高等学校の環境改善 6284万9千円
 - ◇観光誘客の促進 アルクマキャバンの実施 17万3千円
- 雇用の創出
 - 緊急雇用創出基金の活用
 - 持続可能な資源循環型社会の形成
 - マイバッグ持参の促進 852万8千円
 - その他
 - 児童養護施設等の環境改善 556万5千円
 - 指定管理者による施設管理
 - ◇県民生活の安全・安心確保
 - 補助公共事業費10億9152万9千円
 - (11月補正予算案合計)

県政対話集会

去る10月30日、千曲市戸倉創造館において「県政対話集会」を開催しました。千曲市・坂城町地域を中心におよそ260人が参加しました。

はじめに、千曲市・埴科郡区選出…荒井県議があいさつ。次いで倉田代表、千曲市瀧澤副市長、坂城町山村町長があいさつしました。

その後、「改革・新風」の県議14名が自己紹介を行った後、参加者から発言をいただき対話形式で進められました。

発言は8人からあり、聴覚障害者からは「バリアフリー化の推進や「福祉のまちづくり条例」に

この対話集会は年2回開催しており、次回は年明けの1月24日に下伊那郡高森町で開催の予定です(詳細は最上段右端)。

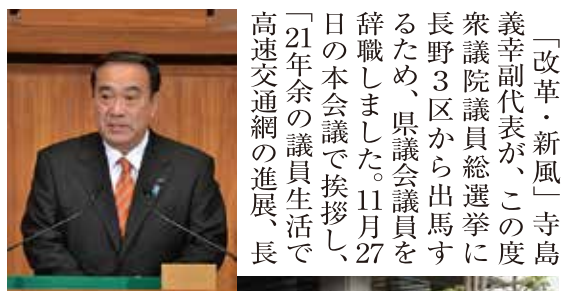


と答えました。このほか、障害者の立場を十分入れて欲しい」などの要望がありました。県議からは、「県条例(の検討)では専門委員が集まっているので、しっかりと伝えていく」と答えました。

防災用備蓄、新幹線新駅問題、いじめ対策、広域焼却場問題、農業の担い手対策など、幅広く質問や要望が出されました。

今回の集会には、手話通訳や要約筆記の方をお願いしたところ、聴覚障害者の方からも「助かりました」と好評でした。

寺島副代表が辞職



「改革・新風」寺島義幸副代表が、この度衆議院議員総選挙に長野3区から出馬するため、県議会議員を辞職しました。11月27日の本会議で挨拶し、「21年余の議員生活で高速交通網の進展、長

野冬季五輪の成功が思い出深く、中期総合計画策定や議会改革に参画できたことは財産。今後心豊かな地域づくりのために渾身の努力をした」と語りました。

総選挙の結果、小選挙区で当選を果たしました。